

新幹線プレス

2016年3月2日 No.263

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

官製春闘打破！格差ベアを許すな！

第21回定期地本委員会開催

2月28日、新幹線地本は荏原第5区民集会所において第21回定期地本委員会を開催し、当面する春闘を中心とした取り組みに向けての意思統一を行いました。

議長には東京車両所分会の松井委員を選出し、議事が進められました。

冒頭の挨拶に立った成田委員長からは、「官製春闘を打破しなければならない。また、ベアの格差を是正させることが最大の課題である」「SMT・SEKとの団体交渉の成果がさっそく表れている。関連会社の社員からも共感と感謝の声が寄せられており、さらに交流をつくっていきたい」

「ボーナスカット反対の闘い、労働審判を通じて得たものをどう生かしていくか。苦情処理会議と労働審判の準備書面におけるカット理由を変えてきているデタラメさを暴露していこう」「反戦・平和、憲法改悪阻止の闘いをしっかりと展開していくためにも、たしろかおる応援プロジェクトの取り組みに集中していこう」との提起を受けました。



たしろかおる応援プロジェクト、さあギアチェンジだ！！



続いて来賓の本部小林委員長、JR総連淵上特執、地本OB会伊藤会長よりそれぞれ激励と連帯の挨拶をいただきました。質疑では、年休問題や効率化施策に向けた会社の動向などの各職場における諸問題を中心に11名の委員からの発言を受け、『官製春闘』打破とともに、たしろかおる応援プロジェクトをギアチェンジして具体的行動を展開していくことを全体で確認し、委員会を終了しました。